

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 6月13日更新

事務事業名		市営住宅整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	坂本 強
	施策	18	住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名	前田 圭亮
	施策の柱	57	公営住宅の充実			所属班	建築住宅班	(内線)	5266
予算科目	会計一般	款 8	項 5	目 2	事業連番 11646	根拠法令	公営住宅法 合志市営住宅条例		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 5年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 5 ~ 11 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公営住宅長寿命化計画等に基づき、合生住宅を令和5年度から令和9年度までに建替える。
【業務の流れ】	令和5・6年度に基本・詳細設計、令和7年度に合生住宅の解体及び造成工事、令和8・9年度に本体工事、令和10年度に竹迫・西沖住宅の解体
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	公営住宅等長寿命化計画に合わせ、合生住宅建替に伴う基本設計及び詳細設計を業務委託により実施した。【基準に達しなかった理由】近年の急激な資機材及び労務費の高騰もあり、当初整備予定額と大きく差異が生じたため、コスト削減の検討が必要であり令和6年度へ予算の繰越を行ったため。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 → イ 整備に関する工事又は委託件数	既存住宅の一部解体、入居者の仮住居への移転 予算の主な増減の理由 合生住宅建替事業スケジュールに伴う委託料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	入居者で補修を要望するもの	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 戸 → イ 市営住宅の管理戸数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全、快適に住むことができる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % → イ 優良な管理住宅戸数の割合
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 快適な住環境で暮らすことができる		総トータルコスト 全体計画 ~11年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア 件	イ	0	0	1	1	1	1	1	1
② 対象指標	ア 戸	イ	289	289	289	287	287	287	287	287
③ 成果指標	ア %	イ	80.62	76.8	75	74.2	74	74	74	74
投資 入費 量	財源内訳	千円			27,342		1,204	252,000	36,000	270,000
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円			23,800			308,000	44,000	330,000
	その他	千円					965			
	繰入金	千円								
	一般財源	千円			9,619		1,400			
(A) 事業費計	千円		0	0	60,761	0	3,569	560,000	80,000	600,000
(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	0
正規職員従事人数	人		5	4	0	4	0	0	0	0
延べ業務時間	時間		600	550	0	660	0	0	0	0
(B) 人件費計	千円		2,346	2,093	0	2,403	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円		2,346	2,093	60,761	2,403	3,569	560,000	80,000	600,000

事務事業名	市営住宅整備事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 達成見込み有。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 合志市の公営住宅の在り方等を見直していき成果向上へ繋げる。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 財政状況を踏まえ、最小限で予算措置を行なっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の人員で事業を行なっているので、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市内の公営住宅全体に関係するため公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						